

## 秋は大忙し!



環境保全活動を行っている市民グループの活動を順次紹介しています

### 調布の自然学習ボランティアグループ



当ボランティアグループが自主活動グループとして新たにスタートして2年目ですが、昨年度と同様小学校中学年の総合的学習のサポート及び低学年の生活科学習のサポートを続けています。対象の学校の数は昨年度とほぼ同じですが、今年度は各学校とも回数が増え毎回60人前後の子供たちを4~8人がサポートし、各メンバーは忙しいシーズンを送っています。1年生の生活科の学習は例えば多摩川の川原に出て虫を採ったり、草花を摘むなど遊び的な活動を子供たちと一緒に楽しんでいます。4年生が中心の総合的学習については、1年を通じて多摩川や野川など同じ場所に出かけて子供たちが決めたそれぞれのテーマについての学習をサポートしています。

学習のテーマは虫、草花、川の生き物、石、橋などです。子供たちが夢中でバッタやトンボを追っかけて川原を走りまわったり、川の中に入り網を使って小魚やザリガニを捕って歓声を上げるのを見ていると、子供たちが小さいときから自然と触れ合う機会を多く持ち、自然を守る事が大切であることを身をもって学ぶ事がいかに必要であるかを感じます。

学校個別のサポートの他に、調布市環境フェアや環境保全課のこどもエコクラブのサポート、「こども遊び博覧会」など地域のお祭りへの参加なども行っています。お祭りではスタッフが木切れと葉っぱを使った笛や竹笛、簡単な竹人形などを会場で作ったり希望する子供たちに作ってもらったりして毎回子供たちに大評判です。竹笛の大きな音に驚くお母さんや孫のおもちゃにと持って帰るおじいちゃんも。

次のお祭りへの参加は、11月5日(土)のこども遊び博覧会です。是非ご家族でお立ち寄りください。スタッフ一同色々取り揃えてお待ちしております。(武内)

#### 今年度のこれまで(10月末まで)のサポート活動の内容

調和小4年生	総合的学習	野川流域の調査・学習	6回
布田小1年生	生活科学習	多摩川	1回
布田小4年生	総合的学習	多摩川	2回
富士見台小1年生	生活科学習	多摩川	1回
富士見台小4年生	総合的学習	多摩川	6回
第三小3年生	総合学習	多摩川	3回
その他	柏野小やエコクラブにサポーターとして個人参加		

11/5(土) 10:00~15:00  
「子ども遊び博覧会」  
雨でも富士見台小学校で待ってるよ!



学習ボランティアの活動に参加したいと思っておられる方は是非代表か調布市環境保全課にご連絡ください。

調布の自然学習ボランティアグループ 代表: 杉山典子 TEL 0424-88-4863

# 人間・樹林の会

10月16日、雨の中の植物調査になりました。トネアザミ・ギンミズヒキ・ミズヒキ・ナキリスゲ・ハナタデの花が咲き、ヤブタバコやヒヨドリジョウゴの可愛い実をみつけました。マテバシイのドングリがたくさん落ちていました。地域福祉センターで、根本さんから全国雑木林会議での人間樹林の会の活動報告をききあらためて会の活動の記録の必要性を痛感しました。



赤い実が可愛い  
ヒヨドリジョウゴ

樹林の会での合意形成が他から評価されたことなどをきき、会場で直に聞いたかったとの感想がだされました。また、保全活動が優先して樹林地の今後の整備についてや全体像をどうするかを、来年1月までにまとめていくことなどを久ぶりに話しあいました。(安部)

# 調布 DE 田んぼ日記

～ 稲刈り・はざ掛け・・・今年も豊作だ！～

去年のことを思い出せば驚沢はいえませんが、稲刈り時期の雨には悩まされました。実が入りすぎて穂からこぼれないかと心配しながら、土、日曜日の晴れを待ちましたが、予報は雨続きで、結局平日の10月14日、午後2時からの刈り取り作業となりました。田植えに続いてまたしても平日の授業となったため、どれだけ参加者が来られるか心配しました。しかし小学校が終わってから参加できた家族が意外に多くひと安心。みなさん一通り作業が体験できたようです。

作業の段取りは、稲を鎌で刈り取り、数把をひとまとめにし交互に重ねる。それを稲わらで縛って「はざ」に架ける。というのですが、時間に追われ細かくやり方を説明する時間が取れなかったことが残念でした。最後は夕間に包まれ手元が見えなくなる夕方6時までかかりました。お疲れ様でした。

今年もスズメが相変わらず、はざかけの稲穂をついばんでいます。今のところ去年ほどの被害はありません。後は11月の脱穀、籾摺り、精米、そして収穫祭が待っています。もう少しです、がんばりましょう。

(田んぼの学校こんどう)



# 環境モニター

10/1(土) 深大寺城址にて植物観察  
参加者 3+3名

多摩河原の観察も2年目となったため、今年度は年に数回、調布市内の別の場所も観察することにしました。今回は国分寺崖線に隣接する城山へ。

雑木林らしい植物であるイヌショウマ・マヤラン・ノダケ・ヌスビトハギなどを観察することができましたが、植栽されたらしいユリの仲間などもあり、自然発生の野草と見分けるのはややむずかしいところ。

季節柄大きなスズメバチに遭遇、ヒヤリとさせられましたが無事終了することができて一安心。帰りがけに通った水生植物園では濃いピンク色をした沢山のツリフネソウが花盛りでした。(鍛冶)



なんというキノコ？  
わかるメンバーがい  
ないのは残念



写真撮影をするメンバー

# カニ山の会

10/8(土)曇り 参加者6名+1名(職員)

前回に引き続き植物調査を行いました。落ち葉のある日当りの場所で1.5m×1.5mの枠内を北東角を原点としてXY軸に木の種類を落としていきました。周囲はイヌシデの大木が目立ちましたが実生木のコナラのバラツキ具合を観察できました。踏みつけられないようクイを打ち直しひもを張りました。



調査用方形枠

11月はカニ山をつかって自然体験と懇親会を実施します。(T.近藤)



作業前に鎌研ぎ指導



100本余りの実生木を調査し終えてホッ！

## 運営委員会

10月11日(月) 18:30~21:30 たづくり304 出席:10名  
調布市全体の保全活動の方向性(5年目以降の活動展開について  
樹林の質、将来像、保存、パートナーシップによる管理、管理の体制作り、  
保全活動内容、土地の所有問題、計画的保全、崖線樹林の教育的活用  
06・2/11 実施の「全体会」準備

連絡会の意見を参考に議論。午前は映像シアターで鬼頭先生に講演を  
していただき、午後はみんなで「とことん討論会」(仮称)をする。

### 「懇談会」06年度活動支援内容の検討

- ・ 市民活動支援費の使い方に付いて再確認をした。各活動グループには来年度の希望を出すように連絡会で知らせる。
- ・ 懸案の事務局機能を市民が担う力をつけるための人材育成講座を企画していく。企画力・人に伝える力量UP・組織運営ノウハウ・などワークショップ技法を中心に実践講座とする。
- ・(デーパースつき)懇談会ホームページ立ち上げ。活動記録の印刷代、活動拠点の場所・ビクターセンターがどうしても必要だ。

○その他: 雑木林塾の日程予定を配布。

## (活動グループ)れんらく会

05年10月17日(月) 出席:8名 たづくり601にて

活動グループ情報交換: 10月の報告。(・環境モニター・人間樹林の会・カニ山の・田んぼの学校は2面参照。)・ねこじゃらし: 10/15カニ山にて土器の野焼き・けんちん汁とほう葉味噌。凸凹山は雨天で中止。・野川流域連絡会: 10/4 砂川用水ポンプ外(昔の多摩川上水からの水路) 以前見学会をした水路情報のまとめ 雨水浸透枡ポンプ外の3つをすすめていく。・若葉町第3緑地保全活動: 緑と公園課との協働で第1回活動に8名参加。自己紹介と現地視察。今後は活動日を第2日曜(人間地域センター10時集合)とする。

・エコクラブ: 報告が無く情報共有が出来ない。やはり行政運営委員も連絡会に参加して欲しい。 運営委員会で議題とする。

運営委員会から: 来年度の活動支援希望を保全課に提案する。支援を希望する活動グループは講師や道具など支援希望と年間計画を記載した企画書を11月の運営会議まで事務局に提出下さい。

全体会について: 前回の連絡会提案を元に運営委員会で決めたことを確認した。イベント的な活動アピールは6月の環境フェアで行う。

## 環境保全課の窓口

環境保全課に着任して7ヶ月が過ぎました。傍でみるのと実際に身を置くのとがこんなに違った職場は初めてで、範囲が広いなあというのが実感です。

スズメバチから、崖線、タバコ、騒音、化学物質、アスベスト、地球温暖化防止まで etc、勉強の毎日です。

壊す、汚すは安易ですが、守ることが難しく大事ということが市民の皆さんに理解していただけるよう微力ながら努力していきたいと思えます。 環境保全課長補佐 仁藤

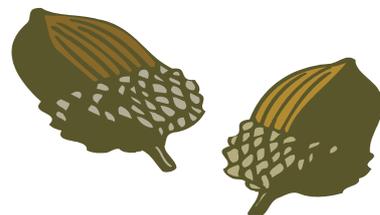
## 環境基本計画策定委員会

日時: 平成17年11月16日

午後6時から

場所: たづくり1002

内容: 中間パンフレットについて



## 深大寺・佐須のいいところ その

いいところがありすぎて迷ってしまいました。

国分寺崖線と市や都の文化財指定の古木、深大寺や周辺の古寺社での年中行事、神代植物公園、農業高校、湧き水と田畑、深大寺自然広場、野川。そしてこの地区に生息する動植物たちは、カワセミ、カブトムシ、サワガニ、タヌキ、カタクリなどを筆頭に都会では見られなくなったものが数多くいます。ほかに名物のおそばや佐須のどんと焼きなど、まだまだたくさんありますね。

一番の魅力は子供の遊び場です。

私は、子どもが自分で遊び楽しめる環境がとても大切だと思っています。ここには神代植物園やカニ山、佐須地区を流れる用水、野川、それが全部そろっています。そして子どもたちが参加できる田んぼや畑の手伝い、収穫。さらにランテアなどがあるのも、この地域の特徴。こうした環境と地域の人のつながりが、この地区の「いいところ」でしょう。今後子どもたちがもっと積極的に参加し活用できる機会を少しでも増やしたいと思っています。(近藤光)



秋色の佐須の田んぼ



佐須用水で生き物観察。水遊びする子供たち。

## 保全活動・イベント案内

### 調布市環境モニター

日時：11/5(土) 9:30~12:30

集合場所：みんなの広場南土手ベンチ付近

内容：植物調査(ワンド周辺)

今年度は通年、植物調査をしています。また年2回調布の見所を紹介する「調布・そぞろ歩き」を実施しています。メンバーいつでも募集中!

### カニ山の会

日時：11/12(土) 10:00~15:00

場所：深大寺自然広場入り口集合(野草園前)

内容：木登りイベント 午後は懇親会をします。各自お椀とお箸を持参のこと。参加費300円程度(芋煮代)

原則第2土曜が活動日です。今月は子供対象のイベントですが普段は主にカニ山東樹林の保全活動と調査を行っています。興味のある方は是非ご参加ください。

### 人間・樹林の会

日時：11/20(日) 9:30~12:30

場所：人間地域福祉センター集合

内容：樹林の保全作業

原則として毎月第3日曜に活動しています。関心のある方はぜひ環境保全課にお問合わせください。直接地域センターに来訪も可です。

### 懇談会-運営委員会

11/14(月) 18:30~20:30

場所：たづくり302

内容：崖線樹林の保全と活用について

調布の自然環境について市民と行政で話し合います。興味のある方はどなたでも参加歓迎です。

### れんらく会

11/21(月) 18:30~20:30

場所：たづくり302

内容：活動グループ情報交換など

市内で自然環境の保全活動しているグループ・個人の情報交換の場です。初めての方もどうぞ。

### 編集後記

私の住むマンションでは大きくなり過ぎたケヤキを何本か伐採したその後に低木を植えることになりました。人間の都合で切られたり植えられたり、黙って私たちの力になってくれる木はエライ! 編集当番：鍛冶 直美

ちょうふ環境市民懇談会は調布の自然環境を市民・行政・事業者の協働で保全・改善・回復していくために設立されました。2001年から保全活動の交流・支援、人材育成、情報収集・発信、話し合いなどの活動をしています。ぜひご参加ください。

### 雑木林塾 第3回

日時：11/13(日) 10:00~15:30

場所：市役所4階第4会議室

内容：植生調査から調布の雑木林を読み解く

講師：根本 淳さん

持物：野外を歩ける格好(長袖, 長ズボン, 帽子)

昼食, 飲み物, 筆記用具, 虫除けスプレー

\* 樹林の中に入って植物を調べます

### カニ山で

### 屋根より高い木登りと自然体験



身近な自然で大冒険!

たか~い木に登ってあたりを見回してみよう。なんだかいつもと違う景色。とってもワクワクする気分! ロープを使って安全に登れるよ。



日時：11月12日(土) 10:00~12:00

場所：カニ山自然広場

対象：小学校3年生~6年生

参加費：1,000円(保険代)

申込/問合わせ：学年、名前、電話番号を fax かメールで。 Fax: 84-0702(小島)

k2-kojima@khc.biglebe.ne.jp

主催：カニ山の会

-市と協働でカニ山の保全活動を行っています-

### 多摩川クリーン作戦

11月13日(日) 8:00~9:00

集合場所：京王相模原線鉄橋下付近

申し込み不用です。直接現地へおいでください。

河原の秋を感じながら一汗流しませんか。

### 子どもエコクラブサポーター募集

日時 11月5日(土) 10:30~15:00

集合場所 人間地域福祉センター 活動は樹林地

内容 森からの贈り物, ドングリを使った工作

講師 小池 弘志さん

持物 昼食, 飲み物, 虫除けスプレー

問合わせ 環境保全課 飯田 81-7086

### 発行：ちょうふ環境市民懇談会

連絡先:調布市環境保全課 tel 0424-81-7086

E-mail: kankyou@w2.city.chofu.tokyo.jp